

くすのき だより

心

ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.
25

2016年
10月発刊



写真／山本 富夫(撮影場所／福島県喜多方市)

地域包括ケア病棟開設にあたって

トピックス

- 脳卒中内科の診療を開始しました
- MRI装置 2台稼動
- 「患者さんの声」の集計結果について
- 市民公開講座「口から取り組む!脳卒中对策」
- 市民公開講座
「健康障害を抱える人々の生活の質の向上を目指して」

- 夏祭り
- 済生会北信越ブロックソフトボール大会
- 「ほっとホスピタル 病と健康」
連載スタート!
- 新任自己紹介
- 無料・低額診療事業について
- 理念・基本方針・患者さんの権利宣言



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院
<http://www.saiseikai-toyama.jp/> hospital@saiseikai-toyama.jp

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
地域医療連携室
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



地域包括ケア病棟

開設にあたって

地域包括ケア病棟師長

按田 弘美

済生会富山病院では、平成28年8月1日、6階に50床の地域包括ケア病棟を開設しました。

地域包括ケア病棟では、主として一般病棟で急性期治療を終えた後、しばらくの間入院療養をしながら自宅に戻るための準備をします。

具体的には、急性期治療中に低下した日常生活動作を、医師、看護師及び理学療法士が連携し、できるだけ入院前の状態に戻すためのお手伝いをします。そのために、病棟には専従のリハビリスタッフ（理学療法士）を配置し、エアロバイク・ニューステップ等の運動器具が揃った運動室でリハビリを行います。（ニューステップは高齢者でも行えるリハビリ器具で、患者さんの運動レベルにあわせて無理なくリハビリを行うことができます。）

現在はまだ院内の患者さんが対象ですが、地域において『地域包括ケアシステム』が構築されていく中で、十分に役割を担えるようスタッフ一同、日々成長していくよう頑張っていきたいと思います。



地域包括ケア病棟スタッフ

脳卒中内科の診療を開始しました

脳卒中内科 古井 英介

脳卒中内科は脳卒中専門の神経内科として、脳卒中センターを担当してきた脳神経外科と協力して、主に脳梗塞の内科治療および検査を担当します。

血栓溶解薬(rt-PA)静注療法は発症4.5時間後まで適応が延長されました。血栓回収デバイスのエビデンスも確立されています。脳梗塞を救急疾患としてとらえ超急性期から積極的に治療し、機能障害を最小限にとどめるよう努力します。エコー装置を駆使して、経頭蓋ドブラ・頰動脈エコー・経食道心エコーなどを行い、脳梗塞の正確な原因確定を行います。経食道心エコーにて脳梗塞の原因が確定した2症例(左心耳内血栓、二次孔欠損型心房中隔欠損症)を提示します。心房細動へのワルファリンに代わる新規経口抗凝固薬など、エビデンスに基づく新しい治療法を積極的に導入し、適切な再発予防および生活習慣病の管理に努めます。

また、頰動脈エコー(日本脳神経超音波医学会および日本超音波医学会のガイドライン作成委員)および頭痛(日本頭痛学会専門医)の専門家として、外来診療でも役立てるよう努力します。



左心耳内血栓



二次孔欠損型心房中隔欠損症

MRI装置 2台稼動

放射線技術科 藤本 勝明

6月1日から、シーメンス社製1.5テスラ磁気共鳴画像(MRI)装置が増設され、2台体制での運用を開始いたしました。

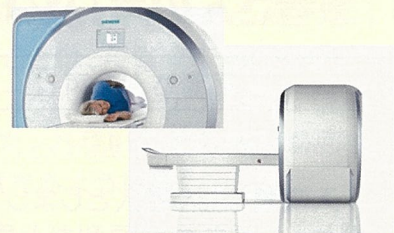
新たに導入したMRI装置の特徴は、従来の装置と比べ開口部分が70cmと、10cm大きくなったことです。これにより、患者さんの恐怖心や不快感を改善する事が期待できます。

また、急性期脳梗塞巣を診断する画像を高精細にする技術や最新の腹部撮影法、新たに開発された下肢動脈を造影剤の使用なしで撮影する技術など、多くの最新技術が搭載されていますので、これ以外の検査部位においても診断能力の向上が期待できます。

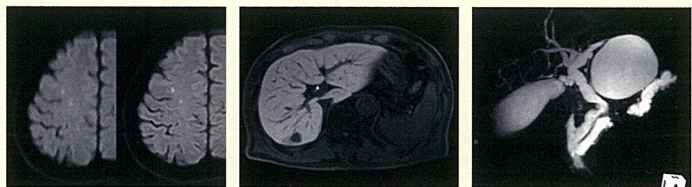
このような検査環境の改善、診断精度の向上は勿論のことですが、2台体制になったことで、これまで1ヵ月以上あった検査待ち日数を1週間程度に短縮させると共に、当日検査の受け入れも増加させることが可能になったため、よりスピーディーな診断へ繋げていきたいと考えております。



70cm



155cm



様々な撮影の一例

「患者さんの声」の 集計結果について

事務部長 栗林 弘明

① 概要

●意見内容

テ　ー　マ	主な内容	件数
設備・サービス	トイレ、駐車場、病衣などへの意見	21
感謝・激励など	スタッフへの感謝、お褒め、激励などの意見	16
待　ち　時　間	待ち時間の短縮、受付の改善などの意見	12
職員の接遇など	職員の態度などへの意見	12
診　療	医師の説明、診療技術などへの意見	4
給　食	食事内容などへの意見	4
そ　の　他	プライバシー配慮などへの意見	4
	合　計	73

●意見箱設置場所 1階ロビー、2階くつろぎ広場 及び各病棟のフロアー 計7カ所

●回収期間 平成27年4月～平成28年3月

●結果の措置

厳しいお叱りのご意見から感謝のお言葉まで、いろいろなご意見・ご要望等をいただきました。
今後とも、患者さんからのご意見には、真摯に対応いたしますので、お気づきの点がございましたらご意見をお願いします。

② 「患者さんの声」及びご意見に対する当院の対応について (代表的なもの)

患者さんの声	当院の考え、対応
設備・サービスに関するご意見 入院着には、老人としましては、ポケットがあれば便利だと思いますが…。	ポケットに私物を入れたまま洗濯に出してしまうと、所有者を特定できないため紛失してしまう場合があります。 また、時計等の金属類を入れたままMRI検査を行うと怪我の恐れや機械のトラブルの原因にもなるので、病衣にはポケットを付けておりませんので、ご理解をお願いします。
某日は気温高で空調が稼動しました。しかしその夜、次の日と気温が下がっても空調はそのまま。空調のOFFとか、温度の調整とか何かできないか。	病院の温度設定も部屋や区画別に調整できる構造になっておりません。また、病室は、空調のON(弱、中、強)、OFFのみで、温度調整は出来ないものです。 体感温度については個人差があるため、その都度調節することは難しく、掛け物での調節をお願いしております。

待ち時間に関するご意見

以前から感じていたことです。が、会計のAさんの対応に不満を感じています。

今日も、確認せずに会計をし、高いなあ!と思い、名前を確認すると違った方のものでした。そして、その旨を伝えましたが、「スイマセン」の一言も聞かれませんでした。指導が必要だと思っています。

本人は、強く反省しており、今後この様な対応がないものと思います。

改めて、他のスタッフにも、氏名確認は、院内のルールであることの意識付けを行いました。

申し訳ありませんでした。

受付の方々は、何故、マスクをしていらっしゃるのか? 予防のため? ならば、大きな声で話してください。聞き取りにくいですが、もっとハッキリ書けば「聞こえない!」

耳の不自由なお年よりは大変だなあ~と思います。このままでよいのでしょうか?

風邪を引いている者や予防のためにマスクを着用している者もいます。

大きな声で呼ぶように指導していましたが、指導が不十分だったので、再度注意をしました。

給食に関するご意見

入院中は、いろいろ良くしていただいて不快に思う日は1日もありませんでした。只一つ言わせてもらえば、ご飯がやや固く、副菜がもう一つあればうれしいかなと。

ご飯は、普通の硬さと軟らかいものの2種類ありますので、スタッフに「軟らかいご飯を希望」とお伝えいただければ、「軟飯」を提供できますので、宜しくお願いします。

副菜の品数は、食材費や栄養量も限られていますので、基本的には、温かいものが2品、冷たいものが1品としています。

品数を増やすことは難しいので、品数を増やさなくても患者さんに満足していただけるものが提供できるように、常に、献立の検討をまいります。

職員の接遇などに関するご意見

入院当初の頃、し尿器が上手く使えずシーツを汚してしまいました。交換をお願いした際に、対応されたナースの方が、おもむろにイヤな表情をされて「エッ?」と思ってしまいました。やりたくて汚す方はいないと思いますので、どうか態度に表さず、対応をお願いします。

入院患者さんのご家族に対して、看護師の対応で、嫌な思いをさせてしまったことは、反省すべき点です。

この内容について病院スタッフ全員に周知し、自身の態度を振り返ること、また、お互いにその様な場面を見た場合は、お互いに注意するよう指導しました。

外来で内科を受診しての事、患者に親切にするようにしてください。特に、受付で身障者に優しい対応を考えてほしい。

看護師に任せるのは普通ですが、車椅子を動かすくらいの事をやっても良いのでは。

配慮に欠ける対応があったものと思います。

医療職とスタッフ全員反省し、今後、全員で協力し、患者さんに優しい対応に努めて参りたいと思います。

事務職等に対しては、看護職への補助をするよう指導いたします。

夏祭り



実行委員長 リハビリテーション科 遠田 謙信

当院の研修ホールにおいて「第6回夏祭り」を開催しました。患者さんや
そのご家族、職員の家族など130名を超える参加がありました。



ストラック
アウト

1から9全ての的を抜くパーフェクト賞を目指して白熱した投球が繰り広げられました。



すいか
割り

これぞ夏の風物詩!目隠しをしてハラハラどきどき…。



ヨーヨー
釣り

お祭りの定番!みなさん苦戦しながらも笑顔で楽しんでいらっしゃいました。



キーホルダー
作り

個性あふれるキーホルダーを前にたくさんの笑顔を見ることができました。



射 的

様々な賞品を前に真剣な表情で狙い撃ち! 喜び、悔しさ、いろんな表情がありました。



喫茶店

ゲームの間のくつろぎタイム。
飲み物・ゼリーは今年も大好評!

来年も多数のご参加をお待ちしています。

済生会北信越ブロックソフトボール大会

医事課 杉瀬 啓

全国の済生会の病院・施設によるソフトボールの全国大会が毎年開催されています。その予選会として、7月24日(日)、岩瀬スポーツ公園で北信越大会が開催されました。今年は6年に一度の地元開催で選手全員が張りきっていました。3年ぶりの優勝を目指して、3月から練習を開始し、週2回、勤務後の19時から21時までナイター設備を利用して行いました。また、今年は実戦での感覚をもっと高めるため、地元のクラブチームとの練習試合で経験を積みました。

大会は炎天下で行われ、順当に決勝に進出したものの、決勝戦の相手は昨年全国大会優勝の福井県病院。決勝戦は1回に両チームとも1点を取り合いましたが、先発・池下は3試合目の登板で疲労も重なり、2回以降福井

病院打線に打ち込まれました。攻撃も毎回走者は出すも、あと1本が出ず最終回に2点を返しましたが、21対3で大敗しました。

来年こそは必ず優勝したいと思います。



「ほっとホスピタル 病と健康」連載スタート!

経営企画室 吉村 英士

平成28年8月から、当院の医師や看護師らが、医療や健康についてのコラムを連載しています。

初回は、井上 博院長に、「失神」について執筆いただきました。

その後、「脳卒中の予防」「野球肘」「乳がん」と掲載しました。今後は、「糖尿病」「冬に気をつけたい感染症」「消化器内視鏡検査でわかること」など幅広いテーマで掲載していく予定です。

「ほっとホスピタル 病と健康」のタイトルに、済生会の紋章「なでしこ」のイラストも入れて、「ほっと」出来る温かい病院から、「ホット」な医療情報を提供することで、地域の皆さんの健康に貢献していきたいと考えています。

失神(上) ～起立性低血圧～

失神とは、一時的に意識を失ってしまう状態です。起立性低血圧は、立ち上がったときに血圧が急激に低下し、脳に十分な血液が送られなくなることで起こります。主な原因として、脱水、薬の副作用、自律神経の乱れなどが挙げられます。

表1 失神を起こす主な原因

- ①起立性低血圧
- ②脱水性失神・・・長時間起立、感熱ストレス、排汗時など
- ③熱失神・・・入浴中の失神
- ④心疾患・・・不整脈、虚血性疾患(心筋梗塞、弁膜症など)

表2 起立性低血圧の対策

- 自身でできること
 - ①脱水対策(水分補給)
 - ②急な起立の回避
 - ③横たわった状態から立ち上がる際は、足先を動かす、足指を動かす、足先を動かす、足指を動かす
- 主治医と相談してもらいたいこと
 - ①降圧薬、利尿薬、前立腺肥大治療薬の減量、中止
 - ②腎臓薬の服用(上に述べた対応が効果で、効果が低い場合)

脳血流不足で発症

脳は全身の血液の約15%を受け、心臓からポンプ送られます。脳血流不足になると、脳細胞が死滅し、認知機能の低下や痴呆症の原因となります。脳血流を改善するためには、適度な運動、バランスの取れた食事、ストレスの軽減が効果的です。

こまめに水分補給を

脱水は脳血流不足の大きな原因です。こまめに水分を補給することで、血液の粘度を下げ、脳血流を改善することができます。

担当医

 井上 博さん
済生会富山病院 院長

※北日本新聞に基本的に毎週火曜日に掲載されています。



NEW FACE PROFILE

新任自己紹介

①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等



D O C T O R

医局



フル イ エイスケ
①古井英介
②脳卒中内科部長
③出身地の富山で働くことになりました。脳外科の先生方と協力して脳卒中センターを盛り上げていきたいと思っています。



アオ キ ユウ タ
①青木優太
②麻酔科医長
③いつのまにか眠ってしまい、気づいたら手術はもう終わっている。そんな快適で最高の麻酔を目指しています。



アイカワ タカ オ
①相川敬男
②整形外科副医長
③整形外科医として、この地域の医療に少しでも貢献できるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



スゲ ガワケン タ
①祐川健太
②外科医員
③2年ぶり2回目の勤務となります。地域のみなさんの役に立てるように頑張りますので宜しくお願いします。



シロ タイスケ
①城 泰輔
②初期臨床研修医
③学生時にもお世話になりました。宣言どおり、医師となってきました。脳神経外科志望です。よろしくお願いします！



カナ ヤマ マ キ
①金山麻希
②初期臨床研修医
③一日一日を大切に、何事にも貪欲に取り組み、研修しようと思っております。半年間、よろしくお願いします。



MEDICAL TECHNICIAN

医療技術員



タカイシ アイ
①高石 藍
②臨床検査技師
③総合病院での勤務は初めてですが、早く仕事に慣れ、皆様のお役に立ちたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



N U R S E

看護部



ナガ エ ユ リ コ
①永江百合子
②看護師(耳鼻科外来)
③5月から耳鼻科外来に配属されました。患者さん一人一人に合った声かけができるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



ネ ダチ アイ
①根建 愛
②看護師(3F)
③病棟経験を活かしながら、患者一人ひとりのニーズに応える看護で貢献していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



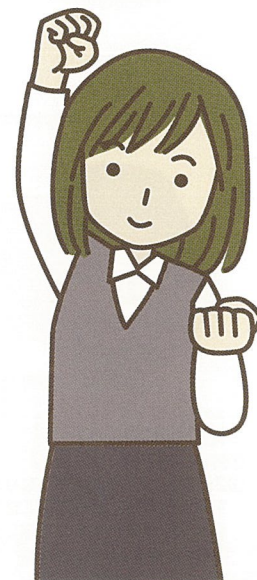
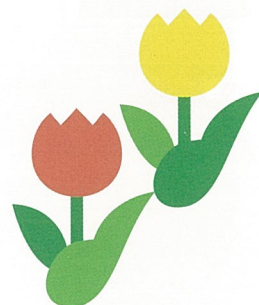
ナカ ネ ヒロ ミ
①中根裕美
②助産師(5F)
③助産師の中根裕美です。結婚を機に富山市に來ました。早く業務に慣れ皆様に貢献できるよう精進します。



クサ ナ ヤヨイ
①桑名弥生
②看護師(6F)
③初心に戻り、みなさんに教えて頂きながら頑張つてゆきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



カトウ ミ ホ
①加藤美歩
②看護師(7F)
③ブランクはありますが、看護の仕事の感覚を思い出しながら日々頑張つていきたいと思ひます。



C L E R K

事務部



ムラ カミリョウ コ
①村上良子
②医事課事務員
③皆様の話に耳を傾け、自分自身も明るく笑顔で仕事に取り組んでいきたいと思ひます。宜しくお願ひします。



済生会富山病院では
無料・低額診療事業を
実施しています

無料・低額診療事業とは、医療費を

減額 免除

できる制度です。

生計困難な方が経済的理由により、
必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。



例えば **このような時にご相談ください**

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、
医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方



利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、
まずは医療福祉相談室へご相談ください。
お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

医療福祉相談室(1階26番)
TEL 076-437-1111(代)
月～金 8:30～17:30

**毎月第2火曜日に無料・低額診療
相談会を実施しています**

場 所:医療福祉相談室 時 間:9:00～12:00

**相談は
無料です**



理念 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

① 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

② 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

③ 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明（インフォームドコンセント）を受ける権利があります。

④ 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

⑤ プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えてください。
- 診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えてください。
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



済生会富山病院報 くすのきだより

発行者 富山県済生会富山病院
院長 井上 博

【編集委員会】 風 間 泰 蔵 南 沢 宏 松 倉 裕 喜 久 保 道 也
加 藤 智 代 堀 田 裕 子 西 川 和 良 神 保 江 梨 香 谷 内 隆 浩
佐 々 木 正 詞 関 岡 綾 子 池 下 美 沙 紀 白 井 幸 恵